

床タイル張り施工要領書

プレミックス K3 床タイル張付用ポリマーセメントモルタル

仕 様

適用箇所（適用下地）	内装床、外装床（コンクリート、モルタル）
適用タイル	床用タイル（セラミックタイル、石材）
塗り厚(くし目高さ)	5～30 mm
製品重量	25kg
練水量	約 5.3L
練り上がり量	約 18L
タイル張り方法	タイル又は石材の寸法が、 ・ 300 角以下の場合 → 圧着張り ・ 300 角を超える場合 → 改良圧着張り タイル又は石材の寸法に関わらず ・ 塗り厚が 20 mmを超える場合 → 改良圧着張り ・ 裏足の無いタイル → 改良圧着張り

留意点

- ・ 300 角を超えるタイルの場合や塗り厚が 20 mmを超えるような場合、タイル裏面との密着性が低下する恐れがあります。温度変化や吸湿乾燥の生じる場所では、タイルや下地の伸縮によって生じる接着層間に発生するひずみに対して、耐力を損なう恐れがあります。このため 300 角を超えるタイルを張り付ける場合や、タイルの寸法に関わらず塗り厚が 20 mmを超える場合・裏足の無いタイルの場合は、タイルの裏面へモルタルをしっかり擦りつける改良圧着張りを行ってください。
- ・ 接着面の吸水性が高いタイルまたは石材は、あらかじめ接着面に吸水調整を施して乾燥させてください。
- ・ 突付け目地にならないように、目地幅は最低 2 mm以上を確保してタイルを割り付けてください。
- ・ 目地深さの違いによって、目地材施工後に色ムラやドライアウトなどの不具合の生じる恐れがあります。目地深さは 4 mm以上確保し、極端な不陸ができないよう、モルタルが硬化する前にできるだけ一定に均しておいてください。
- ・ 床タイル裏面に付着している白い粉は、あらかじめウエスなどで拭って除去できる分だけ全て除去してください。粉状で残留しているまま張付けると、接着を阻害します。
- ・ 伸縮調整目地を 3m 程度のピッチで配置し、囲まれる範囲を 10 m²以内としてください。

床タイル張り施工方法

1. 下地の確認

下地は十分な養生期間を経過していることを確認してください。

【下地の養生期間】

下地	下地調整モルタル	コンクリート
養生期間	施工した材料の仕様に従う。	材齢 4 週間以上

2. 下地およびタイル裏面の清掃

- 下地表面が平滑すぎる場合は、接着性向上のためカップホイールなどで目荒らしを行い、表面の脆弱層もすべて除去してください。
- 下地表面に粉塵などの残留物がないように、真空掃除機でしっかり回収してください。
- 床タイル裏面には白い粉が付着している場合があります。ウエスなどで拭いて除去できる分だけ全て除去してください。粉状で残留しているまま張付けると、接着を阻害します。

3. 下地への吸水調整

- 吸水調整材として、「ユニレックス 3」の原液を上水道水で 5 倍に希釈して施工面に塗布してください。
- 使用するタイルの接着面の吸水性が高い場合は、タイルの接着面にも同様に吸水調整を施してください。

【5 倍希釈の割合】

材料	ユニレックス 3	上水道水
割合	1	4

- 塗布量の目安 150g/m²
- 刷毛やローラーを用いて、まんべんなく塗布してください。
- 吸水調整材が完全に乾燥した後、タイル張りを行なってください。
(乾燥時間の目安: 夏期 1 時間程度・冬期 3~4 時間程度)
- 概ね乾燥していて、液溜りができて乾燥しにくい部分がある場合は、刷毛で延ばして乾燥させてください。
- 吸水調整後は粉塵等が付着しやすくなるため、おそくとも翌日中までにタイルを張り終えてください。
- 吸水調整後、タイル張りが完了するまでは、周辺での粉塵の発生する作業は控えてください。

4. 水系の引き通し

- 割り付け図に基づき、水系を引き通してください。

5. プレミックス K3 の練り混ぜ

プレミックス K3 の調合	
粉体	水
25kg	約 5.3ℓ

- 所定量の上水道水を練り混ぜ容器に入れ、製品粉体を徐々に加えながらハンドミキサーでダマが残らないよう十分に攪拌してください。(練混ぜ時間の目安は、粉体を全部投入してから 2~3 分です。)
- 練り混ぜ後は、夏期 40 分以内、冬期 60 分以内に使用してください。
- 練り足しや水を加えての練り直しは避けてください。

6. プレミックス K3 の塗り付け

- ・ 塗り付ける範囲は、10 分以内にタイルを張り付けることができる程度にしてください。(2 m²程度/人)
- ・ 塗りつけは金ゴテを使用して必ず二度塗りを行なってください。
- ・ 一度目の塗りつけは下地にガリガリと擦り付けながら 1～2 mm厚で塗りつけてください。
- ・ 擦り塗りを行なった後、塗り厚に応じた寸法のクシ目ゴテで、重ね塗りしながら所定の塗り厚にクシ目を立ててください。

※ クシ目を立てた時の高さは一定となるようにご注意ください。くぼみができるとタイルと密着できずにエアポケットができてしまい、のちにタイルの割れや剥離の原因となります。

7. タイルの張付け

1) 塗り置き時間

- ・ タイルの張付けは、張付材の塗りつけ後、10 分以内に行ってください。
塗り置き時間はあくまでも目安です。環境条件によって表面の乾燥時間が早まる場合があります。適宜に張付けたタイルを剥がし取り、裏面の接着状態を確認し、接着状態を見て、塗り置き時間の調整を行ってください。

2) 張付け

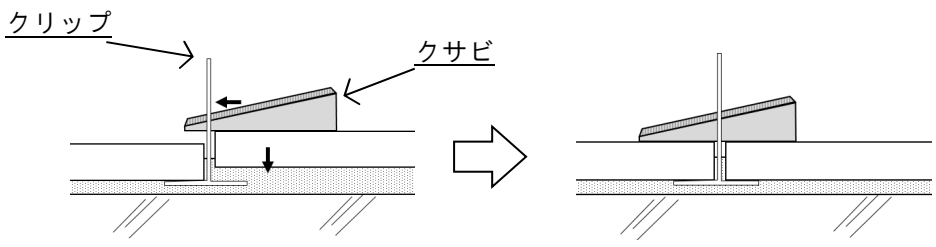
- ・ 床タイル裏面に白い粉が付着している場合は、ウエスなどで拭いて除去できる分だけ全て除去してください。粉状で残留しているまま張付けると、接着を阻害します。
- ・ タイルを張り付け、水平器等を使って隣り合うタイルとの段差を確認しながら、ゴムハンマーなどで軽く叩き押えて、所定の仕上がり面になるように調整してください。

※ 塗り厚が 20 mmを超える場合やタイルに裏足が無い場合、タイルの寸法が 300 角を超える場合は、タイルの裏面にもプレミックス K3 をしっかりと擦り塗りして直ちに張付けてください。(改良圧着張り) また、タイルの端部までしっかりと擦り塗りできていないと、のちにタイルの欠損などの原因になりますのでご注意ください。

- ・ 目地幅は最低 2 mm以上を確保してください。

【クリップ施工の場合の例】クリップ資材メーカーの施工方法に従ってください。

- ・タイルを張り付けてから直ちにクリップを取り付けてください。
- ・クリップを挟んでタイルが隣り合った箇所から、クリップにクサビを差し込み締め付けてタイル間の仕上がり面を水平にしてください。押さえ込んだタイルを引き起こすことがないようにご注意ください。



- ・クリップの除去は、モルタルが硬化していることを確認してから行ってください。

3) 目地処理

- ・ モルタルが硬化する前に目地部分のモルタルを掻き取って、目地深さを 4 mm以上確保し、できるだけ深さを一定にしてください。目地深さが浅すぎたり、ある程度均一でないと、目地材を施工した後に色ムラやドライアウトなどの不具合の生じる恐れがあります。

- 4) 清掃
 - ・ 施工直後はタイルに乗れませんので、施工した列ごとに清掃してください。仕上げ面に付着したモルタルは硬化する前に除去し、水で濡らしたウエスと乾いたウエスを併用してきれいにふき取ってください。
8. 養生
 - ・ 施工後 24 時間は、雨・雪・直射日光・強風にさらされないようシート等により保護してください。
9. 目地詰め
 - ・ 目地詰めは、張付材の施工後 2 日以上経過してから行なってください。

《取扱上の注意事項》

- ・ 製品の保管は、屋内の湿気の少ない場所で、パレット等に載せて床から離してください。
- ・ 製品は製造年月日を確認して、4 ヶ月以内にご使用ください。
- ・ 固まった製品の使用は避けてください。
- ・ 気温が 3℃ 以下および 3℃ 以下になると予想される場合は、施工は行なわないでください。
- ・ 製品には弊社の指定する材料以外の混入は避けてください。
- ・ 製品のお取扱に際しては、適切な保護具(保護手袋、保護メガネ、防塵マスク等)を着用の上、適切な安全対策を実施してください。